

PAT-NO: JP403165712A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 03165712 A

TITLE: DRAWER

PUBN-DATE: July 17, 1991

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

ROECK, ERICH

BRUESTLE, KLAUS

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

JULIUS BLUM GMBH

COUNTRY

N/A

APPL-NO: JP02266515

APPL-DATE: October 5, 1990

INT-CL (IPC): A47B088/04, A47B088/16

US-CL-CURRENT: 312/334.46

ABSTRACT:

PURPOSE: To facilitate the removal of a drawer without being injured in hand

at the time of removing a drawer from a furniture main body by forming a release part to be fixed to a drawer frame and to be arranged under a lock element.

CONSTITUTION: A horizontal flange 9 of each drawer frame 5 is provided

with
a hole 18 in a front area. An elastic lock element 2 passes through the
hole
18, and has multiple stop surfaces 20, which are directly fitted to the
drawer
frame 5 and which are arranged in a different stages so as to be directed
to a
front plate 8. A release member 1 is arranged under the lock element 2
and
under the horizontal flange 9 of each drawer frame 5, and formed as an
integral
part piece with a hook member 19. The lock element 2 is passed through
the
hole 18 and a recessed part of a drawer rail 4, and one of the stop surfaces
20
is laid in rear of a stop edge 15 of the drawer rail 4. With this structure,
displacement of the drawer rail 4 in relation to the drawer frame 5 is
securely
prevented. The release member 1 is pushed, and the lock element 2 is
lifted
from the recessed part so that a drawer can be removed from a furniture
main
body. The drawer can be removed without being injured in hand of a user
by the
drawer rail 4.

COPYRIGHT: (C)1991,JPO

⑫ 公開特許公報(A) 平3-165712

⑬ Int.Cl.⁵

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成3年(1991)7月17日

A 47 B 88/04
88/16A 6578-3B
A 6578-3B

審査請求 未請求 請求項の数 13 (全9頁)

⑮ 発明の名称 引出し

⑯ 特 願 平2-266515

⑰ 出 願 平2(1990)10月5日

優先権主張 ⑱ 1989年10月6日 ⑲ オーストリア(AT) ⑳ A 2313/89

㉑ 1990年5月19日 ㉒ 西ドイツ(DE) ㉓ G 90 05 705.8

⑳ 発 明 者 エーリツヒ・レック オーストリア国 アー-6973 ヘキスト、キュツフアーシ
ユトラーセ 7㉑ 発 明 者 クラウス・ブリュース オーストリア国 アー-6973 ヘキスト、リユーテネン
トレ 5㉒ 出 願 人 ユリウス・ブルム・ゲ オーストリア国 アー-6973 ヘキスト、インドウストリ
ゼルシヤフト・ミツ
ト・ベシュレンクテ
ル・ハフツング 1

㉓ 代 理 人 弁理士 萩 野 平 外3名

明 細 書

1. 発明の名称

引出し

2. 特許請求の範囲

(1) 引出し案内構体の引出しレールが解放可能に固着される2つの引出しフレームを備え、各引出しレールがその後端にフックを有し、それにより引出しに係合可能であり、該引出しが弾性を有するかまたはばねによつて作用される止め要素を有し、該止め要素が各々前記引出しレールの凹所に係合しかつ前記引出しレールの止め縁に当接し、そして各引出しフレームが前記引出しレールの前方端を受容するフック部材からなる引出しにおいて、前記止め要素(2)が引出しの引出し方向に互い違いにされた多数の停止面(20)を備え、それらの中の1つが前記止め縁(15)に当接することを特徴とする引出し。

(2) 前記止め要素(2)の下に配置された解放部材(1)を特徴とする請求項1に記載の引出し。

(3) 前記停止面(20)が互い違いにされた配置

において配置されることを特徴とする請求項1に記載の引出し。

(4) 前記解放部材(1)は前記フック部材に成形されることを特徴とする請求項2に記載の引出し。

(5) 前記引出しレール(4)は上方および下方水平フランジ(4')からなり、そして前記止め縁(15)は前記上方水平フランジ(4')の減径部分において配置されることを特徴とする請求項1に記載の引出し。

(6) 前記止め要素(2)は保持フランジ(22)および取付けブロック(23)により一体部片として作られる前記引出しフレーム(5)に固着可能であることを特徴とする請求項1に記載の引出し。

(7) 前記止め要素(2)は一端においてネツプ(24)を有し、それにより該ネツプは前記取付けブロック(23)のノッチ形状凹所(25)に係合されることを特徴とする請求項6に記載の引出し。

(8) 前記止め要素(2')は垂直に可動なスライドとして設計されることを特徴とする請求項1に記載の引出し。

(9)前記止め要素(2')は前記引出しフレーム(5)に固着可能なハウジング(26)に取り付けられることを特徴とする請求項8に記載の引出し。

(10)前記ハウジング(26)は前記止め要素(2')に係止位置に押圧する弾性フラツプ(28)またはばね(38)を備えていることを特徴とする請求項9に記載の引出し。

(11)前記止め要素(2')は変位通路を制限する少なくとも1本のピン(29)を有することを特徴とする請求項8に記載の引出し。

(12)前記解放部材(1')は前記止め要素(2)に成形されることを特徴とする請求項2に記載の引出し。

(13)前記解放部材(1')は、前記引出しレール(4)の長手方向延長方向に見て、C形状またはU形状であることを特徴とする請求項12に記載の引出し。

3. 発明の詳細な説明

[産業上の利用分野]

本発明は、引出し案内構体の引出しレールが解

ーラ引出し構体が良く知られている。

最近市場に紹介された他の種類の引出し構体は通常レールに直接取り付けられる種類の筒状ローラを有する。これらのローラはそれ自体力を伝達しないキャリッジに保持されたボールと同様である。

引出し案内構体を完全に、家具本体に1または複数の引出しレールを備えた手段をとりつけることができかつしたがって引出しに係合することができる引出しおよび引出し案内構体が知られている。

これらの実施例は、例えば清掃作業のための引出しの容易な取り外しを許容する。

これらの例はオーストリア特許第384535号およびドイツ連邦共和国実用新案第8903741号に示されている。引出しを引出しレールに係止するために、引出しの弾性止め要素が引出しレールの凹所に係合しなければならない。このためにレールの凹所の位置および引出し上の止め要素の位置を正確に整列する必要がある。実際には

放可能に固着される2つの引出しフレームを備え、各引出しレールがその後端にフックを有し、それにより引出しに係合可能であり、該引出しが弾性を有するかまたはばねによつて作用される止め要素を有し、該止め要素が各々前記引出しレールの凹所に係合しかつ前記引出しレールの止め縁に当接し、そして各引出しフレームが前記引出しレールの前方端を受容するフック部材からなる引出しに関するものである。

本発明は、とくに引出しレールおよび支持レールが分離できない引出し案内構体を備えた引出しに関するものである。一般に、かかる引出し案内構体内のローラまたはボールはキャリッジに取り付けられる。

[従来技術]

従来技術はローラがレールの一方に直接固着されないが個々のキャリッジに配置される2種類の引出し案内構体が知られている。レール間の負荷の伝達がボールケージの形のキャリッジ内に保持される鋼球によつて行なわれるいわゆるボールロ

不正確がしばしば発生しかつ引出しレールの凹所への止め要素の問題のない係合を阻止する。例えば支持および引出しレールを備えた引出し案内構体が家具の深さに対して前方にまたは後方に離れ過ぎて取り付けられるかも知れない。これは取付け誤差によつてまたは固着に使用する孔の列の孔明け誤差によつて発生されるかも知れない。幾つの場合に、緩衝装置が引出しの前方と家具との間に取り付けられる。緩衝装置は引出しが個となる範囲に家具本体に延びるように通常個となる高さを有している。

[発明の概要]

本発明の目的は、引出し案内構体へのかかる引出しの取付けを改善することにある。とくに引出しレール上の引出しの係止は、引出しが引出し案内構体に取り付けられているとき、常に保証されべきである。この点において家具の深さの引出しの押し込み通路が家具側壁の前側に当接する前方板によつて制限され、そして引出しレールが止め要素が引出しレールの止め縁に対して載る位置に

において常に絶対に正確でないことが重要である。

本発明によればこれは止め要素が引出しの引出し方向に互い違いにされた多数の停止面を備え、それらの中の1つが前記止め線に当接することによって達成される。

本発明の好適な実施例は引出しフレームに固着されかつ止め要素の下に配置された解放部材を設ける。止め要素は前記解放部材によって解放されることができる。これはまた特別な解放部材なしに手で行なわれることができるが引出しを引き出すとき、手を負傷する危険がある。

停止面が連続傾斜面とともに形成することができる一方、停止面の互い違いの配置が好都合に設けられる。

かくして、一方または他方の段が、引出しか引出しレールに取り付けられるとき、止め線に当接するようになる。

本発明のさらに他の実施例は、引出しフレームのフック部材が引出しレールのフックと反対に向けられかつ解放部材がフック部材に成形されるこ

ている。引出しレール4は、第4図から見るように、上方および下方フランジ4'、2つの水平フランジ4''を接続する1側の連続する垂直フランジ4'''、および他側の周部フランジ4''''からなる。

第3、13および14図から見るように、各引出しレール4はその前方端において減径の部分13を備えている。止め線15をその前方端に有している凹所14は前記減径の前記部分13に設けられる。

後部において各引出しレール4はフック16を備えており、該フック16は、引出しレールが取り付けられているとき、引出しの後壁7の開口17にまたは直接引出しフレーム5に係合する。

各引出しフレーム5の水平フランジ9は前方領域に孔18を備えている。

弾性止め要素2は前記孔18を貫通する。止め要素2は第2ないし9図による実施例において引出しフレーム5に直接取り付けられかつ前方、すなわち前板8に向けられた、段違い配置に配置さ

とを提供する。

かくして、引出しはまた前方において引出しレールから持ち上げられることに対して保証される。フック部材はまた引出し用のストツバを形成し、かつしたがって解放部材が常に明確に位置決めされる。

以下に本発明の実施例を図面に基づいて説明する。

本発明による引出しは通常の方法において2つの引出しフレーム5、後壁7、および底面6および前面8からなる。

引出しフレーム5は好都合には押出し成形されたアルミニウムからなるが、同様にプラスチック材料から作られることができる。各引出しフレーム5は2重壁にされかつ下方水平カバーフランジ9を有している。

さらに、引出しフレーム5は引出し底面6を取り囲む水平フランジ10、11を有している。さらに、引出しフレームは引出しレール4がその後ろに挿入される横方向カバーフランジ12を備え

れた多数の停止面20を有している。

解放部材1は止め要素2の下にかつ各引出しフレーム5の水平フランジ9の下に配置される。解放部材1はフック部材19と一体部片として作られかつプラスチック材料から射出成形された止め要素2が望ましい。他の適宜な材料も同様に使用されることができる。例えばシート材料のパンチされた部品が使用されることができる。

引出しが引出しレール4に取り付けられているとき、該引出しレール4は、第8図から見るように、それらの前方端によりフック部材19に押し込まれる。結果として、引出しはまた前方において引出しレール4から持ち上げられることに対して保証される。

後部において各引出しレール4のフック16は引出しの後壁7のまたは引出しフレーム5の対応する開口に延在する。引出しはかくして引出しから持ち上げられることに対して保証されるがその係止位置から押し出されることができるかも知れない。これは止め要素2を設けることにより阻止

される。引出しフレーム5内で水平フランジに取り付けられる止め要素2は孔18および引出しレール4の凹所14を通して貫通し、そして止め要素2の停止面20の1つが引出しレール4の止め縁15の後ろに横たわるようになる。かくして、引出しレール4は引出しフレーム5に対する変位に対して保証される。

引出しを家具本体から完全に除去しかつたがってそれを引出し案内構体から解放することができるよう、止め要素2は凹所14から上向方向に簡単に押し出されねばならない。解放部材1は手の負傷を阻止するために止め要素2の下に直接設けられる。引出しを取り扱う人は解放部材1を押しかつたがって凹所から止め要素2を持ち上げる。人の手は引出しレール4によって傷つけられることができない。

すでに記載されたように、止め要素2ならびに解放部材1はフック部材19とともに好都合にはプラスチック材料から射出成形される。

側面図において実質上フアン形状である止め要

素26のフレーム部材30に当接することにより止め要素2'の移動通路を制限する。

解放部材1'は止め要素2'に直接成形される。解放部材1'は引出しレール4の長手方向延長部の方向に溝でU外観またはC外観を有し、その理由は解放位置において解放部材が引出しフレーム5からの引出しレール4の引出しを阻止しないためである。

第13図および第14図は引出しレール4およびフック部材19の前方端を示す。

引出し部材5のフック部材19は前方に向かって開口している引出しレール4の対応するスロット32内に延在する垂直フランジ31を備えている。かくして引出しレール4は引出しの側部に対して位置決めされる。左方のフック部材19はより小さなフランジ33を有し、該フランジは引出しレール4においてこの側で引出しレール4の横は方向クリヤランスが可能であるように凹所35の1縁34に単に当接する。

フック部材19はさらにその前方端にまたクリ

素2は保持フランジ22によって取付けブロック23において保持される。

さらに、止め要素2は取付けブロック23のノッチ形状凹所25にそれによって係合されるネツプ(nep)24を有する。止め要素2が駆動されるとき、ネツプ24とノッチ25は駆動中心を形成する。

第10ないし13図による実施例において、止め要素2'はハウジング26内に取り付けられかつその中に垂直に可動であるスライドとして設計される。

ハウジング26は引出しフレーム5に固定され、例えばハウジング26内のネジ付き部材27に螺入できかつハウジング26を引出しフレーム5に締め付けるネジによって保持される。

ハウジング26はさらに止め要素2'をその係止位置に下方に押圧する弾性フラツプ28を備えている。

止め要素2'は段形状の停止面20を備えた止め要素2と同様である。2本のピン29はハウジ

ヤランスをもつて引出しレール4のパンチされた孔37に受容される屋根形状の鼻部36を有する。該鼻部36はその係止から引出しレール4の偶発的な引出しを阻止する。

第15図は止め要素2'のさらに他の実施例を示す。該止め要素は引出しフレーム5のハウジング26に収容されるスライドとして設計される。止め要素2'はこの配置において実施例においてはコイルばねであるばね38によって作用される。

止め要素2'またはスライドがハウジングから完全に押し出されるのを阻止するために、ハウジング26のストツバ40に対してばね38によって押圧される横方向鼻部29を備えている。

止め要素2'は前述された実施例における止め要素2および2'の作用と同一である。

図面において、家具の本体に固着される支持レールは符号3で示される。ローラまたはボールを備えたキヤリツジは図示されない。用語右および左は引出しの前に立ちかつそれを見ている人に言及する。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明による引出しを示す断面図、

第2図は本発明による引出しおよび本発明によるレール係止の第1実施例を示す長手方向断面図、

第3図は引出しレールの前方端を示す平面図、

第4図は引出しレールを示す外観図、

第5図は第6図の線V-Vに沿う断面図、

第6図は引出しフレームの下方区域を示す断面図、

第7図は引出しレールのおよび止め要素および解放部材の区域における引出しフレームを示す水平断面図、

第8図および第9図は各々止め要素および解放部材における引出しフレームおよび引出しレールを示す垂直断面図、

第10図はレール係止の第2実施例を備えた引出しフレームをそめす側面図、

第11図はレール係止および引出しレールの部品を示す分解図、

第12図はこの実施例の止め要素および解放部

材を示す概略図、

第13図は左方フック部材および左方引出しレールを示す概略図、

第14図は右方フック部材および右方引出しレールを示す概略図、

第15図はレール係止のさらに他の実施例を示す側面図である。

図中、符号1は解放部材、2、2'、2''、2'''は止め要素、4は引出しレール、4'は下方水平フランジ、5は引出しフレーム、15は止め縁、19はフック部材、20は停止面、22は保持フランジ、23は取付けブロック、24はネツプ、26はハウジング、28は弾性フラツプ、29はピン、38はばねである。

代理人 弁理士(7387) 萩野平
(外3名)

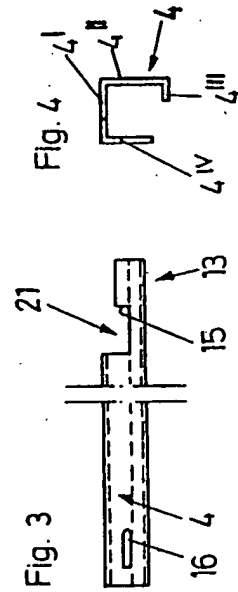
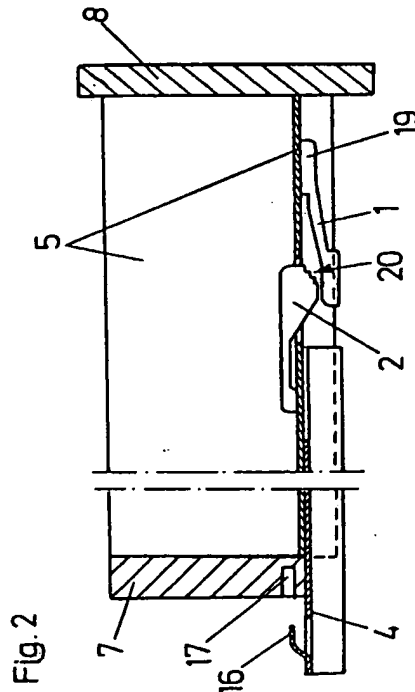
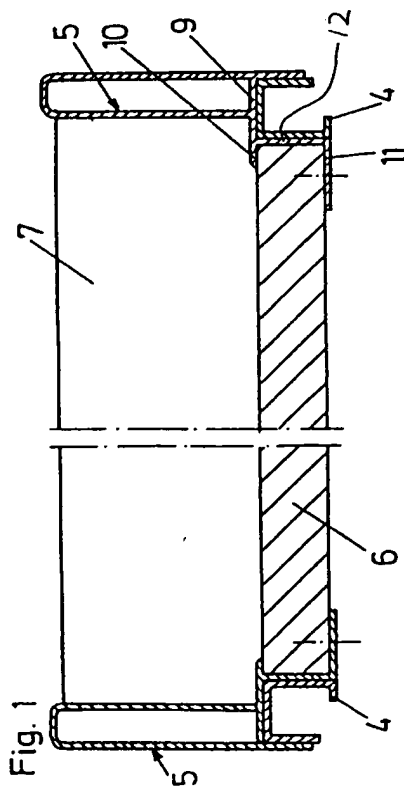


Fig. 5

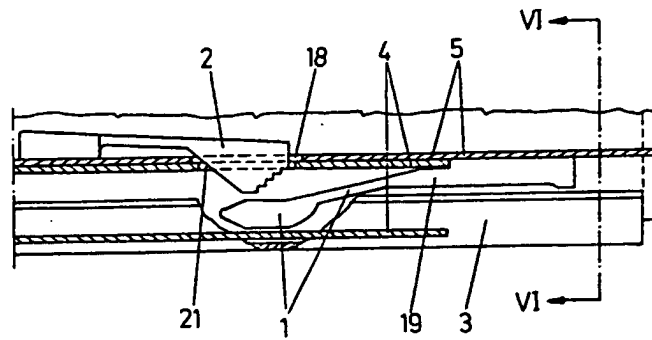


Fig. 6

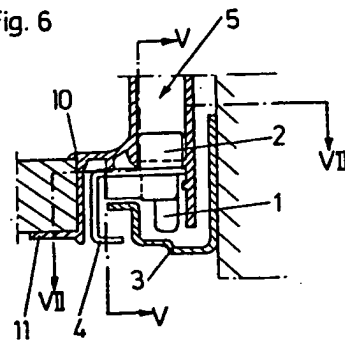


Fig. 7

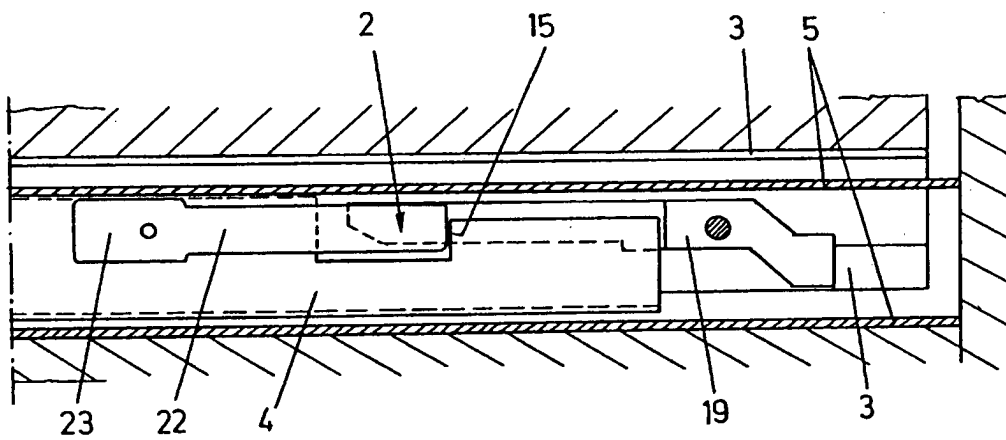


Fig. 8

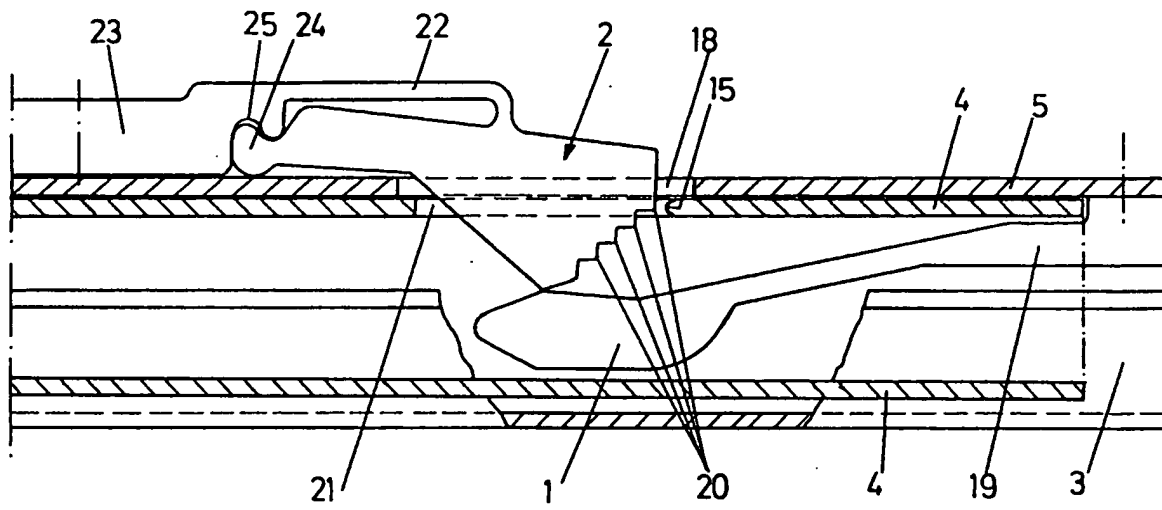
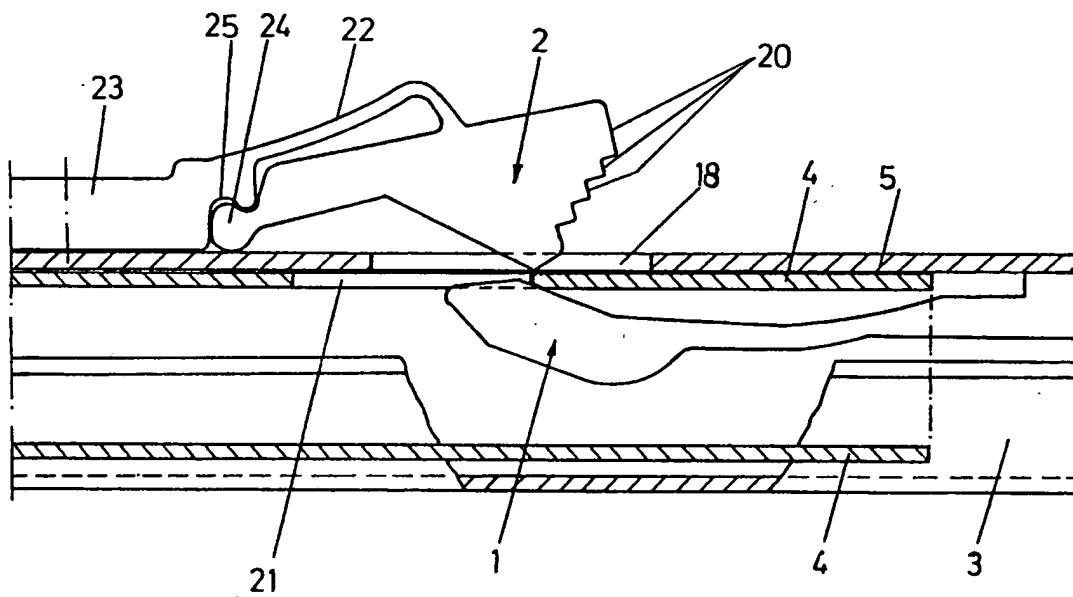


Fig. 9



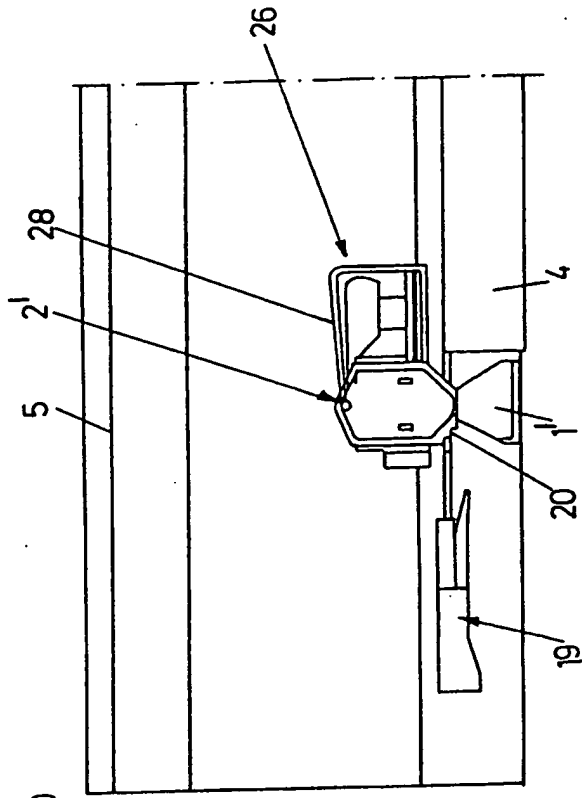


Fig. 10

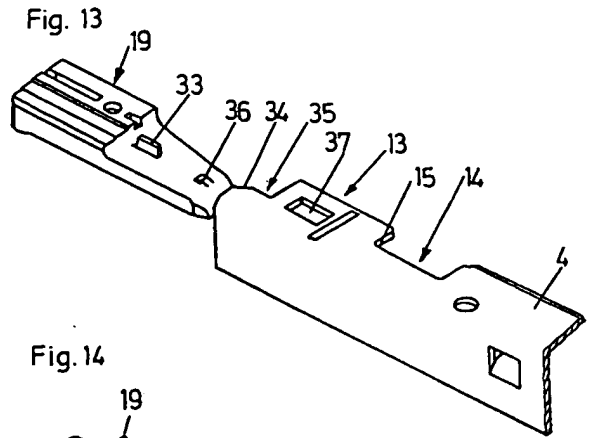


Fig. 13

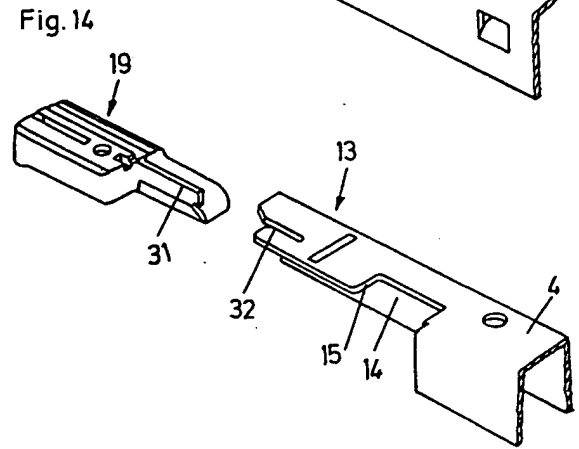


Fig. 14

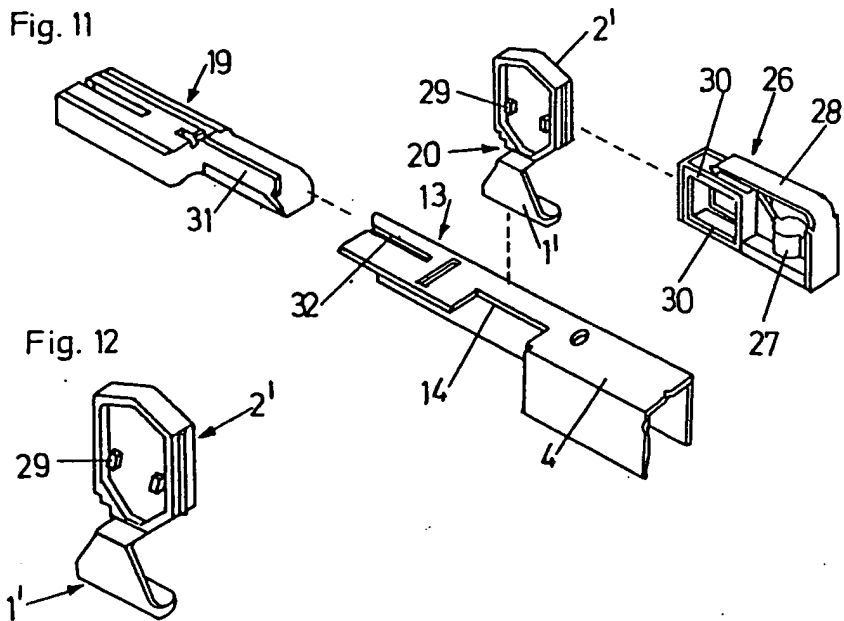


Fig. 11

Fig. 12

Fig. 15

